

FUKUOKA DESIGN AWARD 2024

26th フクオカデザインアワード

FUKUOKA DESIGN AWARD 2024

受賞商品集



福岡県産業デザイン協議会・福岡県

受賞商品集

【福岡デザインアワードシンボルマーク】

デザインの〈D〉に翼をつけた福岡の〈ふ〉が世界に羽ばたく姿を、そして、〈ふ〉に架けた虹が未来を表すシンボルマーク。商品とデザイン、人と社会のバランスを大切にしたいという強いメッセージが込められています。



FUKUOKA DESIGN AWARD



FUKUOKA
DESIGN AWARD
2024 26th フクオカデザインアワード

福を呼ぶデザインが、願いを叶える。

地域には、魅力的な商品がたくさんあります。

伝統や自然との共生から生まれる革新的なデザイン

美しさを裏付ける確かな手わざや技術力

それらが調和し、一体となった優れた商品たち。

そんな商品デザインに光を当てるのが

福岡デザインアワード(FDA)です。

FDAをきっかけにみんながより高みを目指し

そこから生まれたヒラメキがビジネスや地域を輝かせる。

地域から世界へデザインを飛ばしたかった

デザインのさらなる未来に虹を架けたい

そんなデザインアワードを目指し続けています。

デザインの可能性を広げる5つの評価項目

FDAはスローガン「グッドデザイン・イズ・グッドビジネス」に加えて【デザインの可能性を広げる5つの評価項目】を設けています。それらが互いに関連し、相乗効果をもたらすデザインを審査・表彰いたします。



GOOD
DESIGN
IS
GOOD
BUSINESS



自然と人と製品が共生する 世界観を伝えるデザイン

八女茶は全国に知られたお茶のブランドだ。しかし、八女茶がどのような自然環境と生産者の営みによって作られているかを知っている消費者はそれほど多くないだろう。大賞に輝いた「雪ふる山のおそぶき茶シリーズ」のパッケージは、特別なお茶づくりの背景を、手に取る人の心に沁み込むようなグラフィックデザインを通して静かに語りかける。

福岡県と言えば温暖な気候を思い浮かべる人が多いだろう。しかし、このお茶は意外にも「雪ふる山」で栽培され、平地よりも遅く芽吹く「おそぶき」であることがネーミングとパッケージからわかる。複雑な地形から機械を使うことが難しい山間部のお茶づくりは大変な労力がかかるが、降り積もる雪が茶樹を守り、寒暖差が大きく霧がかかる湿度の高い気候がお茶の旨みを引き出す。また害虫が少ないため有機栽培がしやすい。

厳しい自然条件のなか、手作業で栽培、収穫されたお茶から、私たちは自然の恵みを感じ取る。地元の山を等高線の形状と密度で表現した、お茶のパッケージとしては異色の情動的なグラフィックは、実際の茶畑の位置と自然環境を説明している。対照的に箱のラベルには、温かみのある黄色の背景に舞い降りる雪をイメージした文字を配し、このお茶の背景を情緒的に伝えている。産地の自然と生産者と消費者をつなぐ見事なコミュニケーションデザインだ。

Edit and Design 編集者・デザイン研究者 / 九州大学客員教授
審査委員長 池田 美奈子

厳しい自然と人の営みを
情報と情緒の両面から伝えて
商品の本質を問い直す。

大賞

雪ふる山の
おそぶき茶シリーズ

お茶の千代乃園(八女市)

Design: みさこみさこ



雪ふる山のおそぶき茶シリーズ

八女煎茶 50g ¥918～ 抹茶玄米茶 60g ¥594～
ほうじ茶 50g ¥594～ 和紅茶 ¥1,080～
雪山烏龍 20g ¥1,080～

千代乃園公式サイト
<https://chiyonoen.jp>



大賞商品開発ストーリー

冬には雪が降り積もる
人目の届かない
奥八女でつくられるお茶。
「おそぶき茶」に
勇気をくれたのは、
デザインだった。



デメリットを強みに変えたブランディングのチカラ。

日本有数のお茶の産地として知られる福岡県八女市。国内外で人気を集める八女茶は、約600年の歴史を誇ります。そんな八女エリアでも一線を画しているのが、「お茶の千代乃園」です。標高の高い山間部で育つ茶葉は、平地より収穫時期が遅れることで、市場では安く買い取られてしまう。そんなデメリットを解消したのが、「雪ふる山のおそぶき茶」というブランディングでした。

冬には雪に覆われるような寒さを耐え抜きゆつくりと育つ茶葉は、そのぶん強い旨みと香りが生まれるのです。奥八女で生まれたお茶が山から町へ海を渡り海外へ

広がることをイメージしたというロゴマークの通り、2015年には海外進出を目指し、有機JAS認証を取得。品種による紅茶の味わいの違いを楽しめる「スノウイングマウンテンティー」（山間部で育った数種類のシングルオリジンティ）も開発し、ドイツやフランス、チェコ、オーストリアなど世界中で楽しまれています。

デザインに力をもらい、国内外へ広まった千代乃園のムーブメント。「お茶の千代乃園」の三代目原島政司さんの次女であり、「茶寮千代乃園」（季節のお茶を味わえるカフェ）の代表を務める原島春花さんにお話を伺いました。



初代園主・千代吉氏と共に三代目園主が名付けた「千代乃園」は家族でお茶作りを営む茶農家です。



標高 300~650メートル程の山腹にある茶畑



離れた場所に約15の茶畑があり手間暇かけて育てられる

お茶が長年愛されるように。デザインに込めた思い。

標高が高い場所で作られるお茶。ならでは「遅ぶき」をプラスに変えるため、母はまだWEBサイトが一般的でなかった頃からブログを書くなど、解決策を探していました。転機になったのは「九州ちくご元気計画」という事業に参加したこと。デザイナーさんをご紹介頂き、ロゴやリーフレット、WEBサイトの作成に取り組みました。依頼したのは、若い方にも親しまれるデザイン。お客様の家庭で飲まれ、次世代へとリレーが続いていく…。そんな風にお茶がご家族に愛されていくストーリーを描けるデザ



「お茶の千代乃園」3代目・政司さん。濃厚な旨味ばかりではなく、飲んでスッキリ体に染み込むお茶づくりを目指す

イン。「雪ふる山のおそぶき茶」というネーミングもこの時に生まれました。こうしたブランディングをきっかけに、国内外のイベントやワークショップに参加するようになり、2016年には福岡県からの要請でドイツなど海外でのPRにも挑戦。新しいチャレンジをするには勇気が必要ですが、デザインが私たちの背中を押してくれたのだと思っています。イベントに参加すると、お茶好きな若い方も意外と多くて、「売るための努力が足りなかったのかも」という気づきになりました。



平地出身のため、奥八女で作られるお茶や野菜のおいしさに驚いたと語る母だから、伝えられるお茶の魅力がある

試作を繰り返し返り生まれた、世界で愛される発酵茶。

父は台湾の発酵茶との出会いきっかけに、2010年から発酵茶作りを始めました。今こそ広がっている和紅茶ですが、当時は周りに紅茶の生産をしている農家もほとんどなく手探り状態。3、4年は加工しても売り物にならず、破棄する時には悔しい気持ちもありました。発酵茶作りを始めて5年後には、標高が高い⇒害虫が少ないという地域の特徴を活かし、有機JAS認証を取得。有機JASとは、農林水産省が定める有機食品の国家規格。農業や化学肥料などの化学物質に頼らず

自然の力で生産された食品を認証するものです。薬剤を使わないことでお茶が強くなり、農薬で死滅していた害虫を食べる生き物が戻ってきて、土も自然の形を取り戻していきました。農業・化学肥料不使用、EU残留農薬基準に適合したお茶は海外でも人気が高く、昨年は念願だった烏龍茶の開発に成功。初年度ながらコンテストで受賞しました。和紅茶も毎年入賞実績が増え、「大切に育てたお茶を、いちばん美味しい飲み方で楽しんでいただきたい」というお茶と出会う場所づくりも考えるようになりました。



「雪山烏龍」は日本茶AWARD2023 烏龍茶部門プラチナ賞を受賞



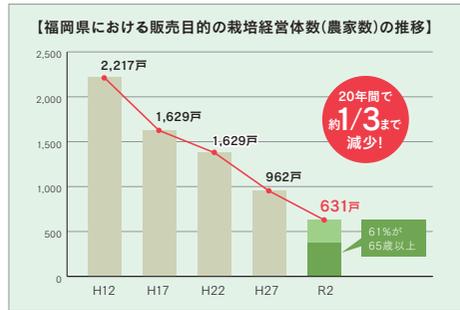
オンラインショップでは、普段のお茶からギフト用まで揃う



約15の茶園を持つ千代乃園ならではの品数の多さ。同じ日に収穫した茶葉でも、加工方法やタイミングで味が変わる。



「茶寮 千代乃園」代表の春花さん。一度都会に出たがお茶の魅力を見直し、Uターンしてきた



出典:農林水産省「農林業センサス」(H27以前は販売農家数、R2は個人経営体数)

課題の多いお茶業界。まだやれることはある

あまり知られていませんが、30年ほど前からお茶の国内消費量は右肩下がり。お茶の取引価格も下落しています。茶農家も年々減少していて、福岡では平成12年からの約25年間で農家の数が3分の1に。現役の約630戸の茶農家のうち、61%が65歳以上という危機的状況にあります。特に私たちがよる山間部の茶園は労力的にも厳しく、日本全国で荒れた農地が増え続けているのが現状です。ネガティブな情報が多くなりませんが、海外では山岳部で作られる

山の茶文化を 感じられる場所に。

「曾祖父の代から続くこだわりのお茶を、いちばん美味しい飲み方で楽しんでほしい」「無くなりつつある奥八女のおばあちゃんたちの食文化を伝えたい」という思いから、2019年9月に「茶寮 千代乃園」をオープンしました。京都で飲食業やティーペ어링を学んだ経験を活かし、季節や料理に合わせたお茶を提案しています。山の素材を活かしたお茶や、祖母や母から受け継いだ郷土料理を提供。朝・昼・晩といった時間帯や季節、



「お茶の育ったこの場所、水、空気の中で飲むお茶は心に残るんじゃないか」と様々な取り組みを行っている

千代乃園が目指すのは、奥八女を世界から人が集まる「おいしいお茶と出会うまち」にすること。スタッフと協力し、お茶の魅力伝えていく。



川に面したテラス席から、四季折々の美しい自然を望む「茶寮 千代乃園」。キャンドルナイトや探茶会などお茶を楽しむイベントも開催されている。



お茶は人気が高く高値で取引されており、成長の可能性は十分あると思っています。現在60代の父も「海外で八女茶が流行ったら面白いよね」ととても前向きです。また私たちの茶園では、デザインを活用したブランディングをきっかけとした出会いもあり、数年前より若い夫婦が働いてくれるなど、新しい風も吹き始めています。これからもデザインや茶寮、イベントでお茶の魅力を発信し、農家の後継者不足という課題にも向き合いたいと考えています。



神奈川県から移住したご夫婦。千代乃園とは別に自身の茶畑を持ち新たなお茶づくりにも挑戦している



紅茶は品種や収穫時期の違いのあるメニューを取り揃える

気分に合わせてお茶を使い分けていく楽しさも提案できたらと思っています。そのために器もこだわっていますし、お一人おひとりの好みを伺い、試飲しながらぴったりのお茶を提案するワークショップなども開催しています。何かを好きになるには、いくつかのステップがあると思うんです。最初は「SNSに映える景色があるから」など、どんな理由でもいい。「好き」のきっかけをつくり、お茶と人との新しい関係性をデザインしていきたいです。そして八女に山の茶文化を感じられる場所、お茶と出会う場所をこれからも作ってまいります。

従来の形状を覆すデザイン。武骨で優しいお香立て。

「9、7、5、3、1」と数字が記された、アルミ鋳物の直方体。お香立ての概念を覆す形状、デザインにまずは驚く。この数字は、受け台の穴に横向きに差し込まれたお香の残りの長さを示し、数字であとどれ位か分かる仕組みになっている。

上部の穴からしっかりと煙が上がるよう、蓋裏の形状も非常に工夫され、蓋つきで火を露出させず使用できるため、灰がこぼれず、子どもやペットがいても安全に使うことが可能だ。

この商品を製作したのは、40年以上鋳造用木型を製作してきた会社である。木型は製造業の基盤を支えているが、職業認知度が低く、廃業する会社も増えているという。そこで木型屋の矜持を持ちつつ、型作りのノウハウを活かして開発されたのが、このお香立て。少し無骨な質感と印象も所有欲をくすぐる。これからは楽しみな商品だ。

審査委員 太宰府天満宮 宮司 西高辻 信宏

受賞者のコメント

影の立役者から主役へ。

鋳物製品の製作におけるトップバッターを担う「木型屋」は、普段は表舞台に立つことが無い職業です。本商品は、木型屋として働く自社メンバーの発想・デザイン・技術等から生まれましたが、今回金賞という結果をいただいたことで「木型」が表舞台に立ち、また木型屋として働いてくれている自社メンバーにもスポットライトを当てることができました。

今後も木型屋の楽しくものづくりをする姿を、商品とともにお見せしていきたいと思っております。



株式会社村田木型製作所 | 村田 誠さん



金賞

アルミ鋳物のお香立て / 001

株式会社村田木型製作所
(宗像市)

Design : 加来 由香里

削ぎ落とした職人気質なカタチに
細心の配慮が詰まっている。



アルミ鋳物のお香立て / 001

お香立て ¥18,500

ギフト用パッケージ ¥1,100

株式会社村田木型製作所

<https://muratakigata.base.shop>



軍手メーカー三代目が灯す幸せのともしび。

やわらかな大きな手のような生成りのキッチンミトン。九州の間伐材からできた木糸にオーガニックコットンの糸を撚り合わせて丈夫でしなやかな糸を作り、そこに軍手製造の技術を活用した。二重構造+5本指のグローブタイプで、熱を遮断しながら器にしっかりと指を沿わせることができ、片手でも力が入りやすい。さらに軍手にはないサイズ展開、着脱しやすいループ、ニットで編み上げた魅力的なパッケージなど、あらゆるところにしっかりとした視点と徹底した工夫を見て取ることができる。また、自分用としてだけでなくギフト用としても魅力的な価格帯だ。国内製造業の苦戦が続く中、ものづくりに励む地方の一企業が灯すともしびのような製品だ。

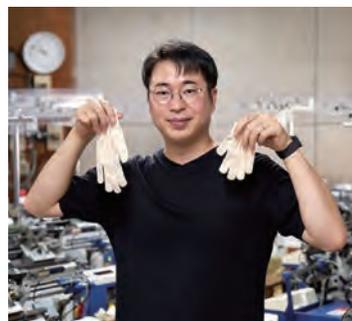
審査委員

公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 福岡地区代表
下川 まさのり

受賞者のコメント

これからも地域の産業の火を灯し続けたい。

弊社は長年、福岡県久留米市の自社工場で軍手を作り続けることにこだわってきました。軍手づくりの技術を活かしたキッチンミトンがこうして世の中に受け入れられた事は大変嬉しく思います。またこの地域で繊維製品を作っていく中で、「九州の素材を使ったプロダクト」の開発は長年の夢の一つでした。



株式会社イナバ | 稲葉 雄大さん



金賞

小国杉のキッチンミトン

株式会社イナバ(久留米市)

Design: 稲葉 星舟 / 稲葉 未来
/ 稲葉 雄大

伝統産業にやさしさを足した
地域ものづくりへの素敵なヒント。



パッケージも同素材

小国杉のキッチンミトン

Mサイズ・Lサイズ 各 ¥6,600

株式会社イナバ

<https://camp-fire.jp/projects/830588/view>



クリーニング業界の脱プラを推進する 紙製カードボードハンガー。

2022年に続き2回目の受賞となったこの商品は、クリーニング業界の衣類用ハンガーとして開発された。前回は、環境に優しい業界初の商品として受賞されたが、今回は、新素材の採用によりスカートフックを取り外し可能で、様々な衣類にも対応できるようになり機能面も向上。紙製のスカートフックは、強度も抜群で、従来のプラスチック製フックとは異なる挟む力を利用した構造が特徴である。

さらに、お店のロゴなどを印刷できる機能を追加し、マーケティングツールとしても活用できる点も評価された。環境への配慮と機能性、実用性を兼ね備えたこの商品が、多くの企業に共感され、様々な場所で利用されることを期待したい。

審査委員

株式会社四次元ポケット 代表取締役 永野 研太

受賞者のコメント

段ボールハンガーで脱炭素社会の実現を目指したい。

他の商品やサービスに比べて非常に地味なプロダクトですが、環境性や循環する仕組み、ソーシャルインパクトなどをご評価いただき、大変嬉しく思います。アワードでは、今の世の中に求められる「環境性」を活かしたデザインが多く見られ、とても刺激を受けました。今後も「環境性+デザイン」の可能性を追求していきたいと思っております。



株式会社アルサ 執行役員
毛利 明光さん

環境のことも、業界のことも考え抜いた
持続的な発想でさらに進化していく。



金賞

カードボードハンガー

大国段ボール工業株式会社(行橋市)
株式会社アルサ(福岡市)

Design: 寺澤 一光



そらいろクリーニング
<https://solairo-cf.jp>



大国段ボール工業株式会社
<https://www.daikoku-cci.co.jp>



「もったいない気持ち」を産学官連携で表現!!

フードロスは大きな社会問題である。この商品はフードロス問題を解決するために「響灘菜園」「九州栄養福祉大学」「西日本工業大学」「地元メーカー マル商」をはじめとする多数の関係者のノウハウを結集したカレーである。老若男女が好む「カレー」にスポットを当て、流通経路から外れた若松産のトマトの素材の良さを壊さず、酸味を抑えまろやかな味わいに仕上げた商品力、大学生が開発した「レシピ」「わかりやすいネーミングとデザイン」。そして、売上の一部をこども食堂に寄付できる「社会貢献の仕組み」。私たち消費者も社会貢献の重要性は理解できるが一步を踏み出す勇気を持ってない場合がある。店頭で並ぶこの商品を通じて消費者自身がフードロス問題を知り、「食する」という行動でフードロス問題解決の一助になって欲しい。

審査委員

株式会社岩田屋三越 マーチャンダイザー 石松 瑞樹

受賞者のコメント

産・官・学連携による規格外トマト利活用。

今回参加させて頂き、商品ひとつとっても、その生い立ちや開発の苦労、それぞれのストーリーがあり、それを消費者に分かりやすくお伝えするためのデザインの重要性を、他応募者皆さんのお話や展示から再認識するきっかけになりました。今後も、お伝えしたいメッセージや想いを込めた商品づくりに取り組んでいきたいです。



響灘菜園株式会社 | 堤 昭広さん

消えてしまう価値を新たな価値に。

一般目線だから生まれた商品デザイン。

金賞

トマトのおんがえしカレー

響灘菜園株式会社(北九州市)

Design: 岡崎 友則



トマトのおんがえしカレー

1パック 180g ¥648~

響灘菜園株式会社

https://kitaq.style/pr_hibikinada_saien_04/

pr_hibikinada_saien_04/



コヘツツイ HAJIME1合

蒼築舎株式会社(三重県四日市市)

Design: 松木 一真

左官職人が全て手作業で作るかまど「コヘツツイ」。コンパクトなデザインのかまどは、薄れゆく左官の技術と日本の生活様式のかまどを守り・伝える役割を持つ。

固形燃料で使える手軽さながら、ごはんを炊くだけでなく燻製やダッチオーブン、焼き網を使用した調理までできるマルチさ。懐かしさを感じさせるそのデザインは、私たちの日常生活を通して守っていききたい日本の素晴らしい伝統文化を思い起こさせてくれる。

審査委員

株式会社ハンズ 博多店 前グループマネージャー 志賀 美紀

コヘツツイHAJIME 1合

[アルミ釜・鋳物釜] 各 ¥25,300

https://www.tutikabe.net/product/cohettui/pro_08/



左官職人が全て手作業で作る土壁の風合いを感じるかまど。

銀賞



ulu#353196 サンゴの塗り壁

株式会社 沖坤(沖縄県名護市)

Design: 比嘉 卓也

風化・死滅したサンゴや廃棄された赤瓦を活用した塗り壁材であるが、それだけではない。アミノ酸が豊富な泡盛の蒸留かすを活用した、サンゴを育てるための基盤の開発も行い、沖縄の海を育てる活動支援にも取り組む。豊かな沖縄の海を表現したイラストとともに、「353196」(サンゴのサイクル)というブランディングのもと、沖縄文化の継承、自然資源を活用した製品、サンゴ養殖支援の取り組みを一貫して実施していることが高く評価された。

副審査委員長

一般社団法人Design-DESIGN MUSEUM 理事
廣嶋 まい

サンゴの塗り壁 20kg ¥14,300~

<https://www.okikon.com/services/materials>



銀賞

美しい海の循環を生み出すサンゴの塗り壁。



お茶やスイーツや料理など一つまみで、暮らしを彩ります。

銀賞

乾燥エディブルフラワー

FlowerTea+Farmer (福岡市)

Design: 有持 要

料理を彩っている食用花を家庭でも使えるようアレンジした商品です。透明なガラス瓶は鮮やかな色彩を引き立て、「花がそばにある喜び」を提供してくれます。パッケージも工夫されており、遮光性の確保と洗練された外観を両立させています。1gという容量設定も絶妙で、退色を防ぐと同時に日常使いのしやすさが考慮されています。土づくりから始める真面目な姿勢がデザインに反映され、日常生活に彩りを加える商品として魅力的です。

審査委員

西日本工業大学デザイン学部情報デザイン学科 教授
中島 浩二

乾燥エディブルフラワー

・ギフトボックス ¥3,780(5種セット)

・単品 ¥648 ・詰め替え用 ¥324~

<https://www.flower-tea.jp/edibleflower.html>



アスリートの声から開発された餡子のエネルギー補給飲料。

銀賞

餡MMu(こしあん・つぶあん・はちみつレモン)

有限会社菓心まるいち(佐賀県佐賀市)

Design: tuii株式会社 田中 淳・伊藤 友紀

海外遠征で和食が恋しくなるアスリートの声から開発されたという成り立ちや、餡子という伝統的な食材でエネルギー補給飲料をつくるという発想が面白い。漢字と英文字を組み合わせたネーミングやシンプルなパッケージデザインにも高いクオリティを感じ、手に取りたい気持ちにさせる。冷蔵庫に常備しておいて、パンに塗ったり、ヨーグルトにかけたりと、餡子はもろろん食生活の可能性を広げた点も高く評価した。

審査委員

株式会社電通九州 シニアクリエイティブディレクター
永野 弥生

餡MMu ¥3,030(6本セット)

¥3,930(8本セット)

<https://anmmu.kashinmaruichi.co.jp>



九州おでん堂

株式会社山吹(北九州市)

Design: シロクマ3 榎並 憲二

おでんのアイコンといえば、三角、丸、四角のこのフォルムである。このフォルムを創業140年の老舗かまぼこ店が常温おでんとして再現した。記憶の中のアイコンが現実の商品となり、透明パッケージの中に存在するインパクトは大きい。透明パッケージは視認性も高く、その魅力を脚色なくストレートに伝えている。出汁をとろみにすることで、食べ歩きの手軽さも生み出した。伝統的な食品を、デザイン視点から時代に合った改良を加え、土産品として再ブランディングを行っていることを高く評価した。

審査委員

株式会社九州博報堂 エグゼクティブディレクター 山田 彰

九州おでん堂(博多・小倉)

各1本入 ¥480

<https://www.yama-buki.co.jp>



記憶の中のフォルムを再現して昔懐かしいおでんをアップデート。

銀賞



HAKATA BOKOMEN!

株式会社博水(福岡市)

Design: PREO DESIGN合同会社 古庄 伸吾

博多においては「ラーメン」「うどん」といった全国的にも認知ある「麺」文化の中に新しい「麺文化」のチャレンジ精神。長崎や他県に比べると福岡ではやや影が薄くも感じる「練り物」をベースに開発という点。小麦アレルギーや魚介類が苦手な方でも楽しめる新しい食文化。今後は「麺」単独での開発・販売も視野に入れているとのことでとても期待。食べてみたいくなる一品。

審査委員

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
六本松蔦屋書店 雑貨コンシェルジュ

吉嗣 直恭

HAKATA BOKOMEN!

¥1,300~

<https://hokusui-foods.com>



魚食普及に練り物屋が挑んだ魚のすり身で作る冷凍魚麺。

銀賞



既存ジーンズの課題を久留米絣の斜め裁断で解消。

銀賞

Departure Pants

久留米絣研究舎合同会社(福岡市)

Design: 瀬上 貴司

伝統ある久留米絣。着物地という現代の裁断と縫製ではなかなか扱いが難しい特殊な生地を、バイアス使用や現代的なデザインに落とし込み、かつワンサイズで男女兼用できる点、経年劣化しても品のある色落ち、バランスよく完成されている。今後はカラーバリエーションやショーツ等、新たな展開に期待したい。

審査委員

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
六本松蔦屋書店 雑貨コンシェルジュ

吉嗣 直恭

departure pants

KKK701 kasuri hanpu navy ¥55,000

<https://k-kenkyusya.com/blogs/topics/departure-pants-2025>

departure-pants-2025



直火料理の可能性を広げるメッシュ式フライパン。

銀賞



メッシュパン

株式会社乗富鉄工所(柳州市)

Design: ゲイトライトデザイン 関光 卓

ありそうでなかった目から鱗のプロダクト。デザイン性もさることながら、未知の食体験を叶える点が素晴らしい。直火専用で、細かい網目から肉の油や野菜の水分が落ちるためキッチンで使うことはできないが、それにより薪から煙が立ち上り、香ばしい風味をつける。フライパンではつくれないスモーキーなチャーハンには、それを食するためだけにキャンプに行きたくなくなるほどの魅力がある。キャンプ好きの友人に薦めたい逸品。

審査委員

株式会社電通九州 シニアクリエイティブディレクター
永野 弥生

メッシュパン 大 ¥16,500 小 ¥13,750

<https://www.nori-pro.jp/life/7918>



2024 その他のノミネート商品 | 一次審査を通過した、受賞商品以外の優れた商品たちをご紹介

<p>『CXM』EASY TOTE</p>  <p>端から端まで生地魅力を余すことなく使用したトートバッグ</p>	<p>『明光メディカル』 黄漆染 漆染めスカーフ</p>  <p>漆液採取(漆掻き)後の未活用の丸太から草木染めをした黄金色に輝くシルクスカーフ</p>	<p>『石橋鉄工所』 gold leaf accessories</p>  <p>金属精密加工と金沢の金箔メーカーとの新しい和の形のアクセサリー</p>	<p>『マサエイ水産加工』 ねばねば海鮮丼 缶ベエ</p>  <p>海士漁師考案! ご飯にかけるだけで簡単に作れるねばねば海鮮丼</p>	<p>『門司港レトロビール』 GHH IRON WEIZEN</p>  <p>世界遺産「官八幡製鐵所」のレガシーを現在に伝えるスチール缶クラフトビール</p>
<p>『やまむら』 まんまえびせん</p>  <p>有明海産エビを、姿の「まんま」せんべいにした、えびの化石のような究極えびせん</p>	<p>『富貴』 博多カステラ みるく&発酵バター</p>  <p>JR西日本とのコラボ商品、ミルクの風味と芳醇な発酵バターの博多カステラ</p>	<p>『香岐の蔵酒造』IKINOCRAFT</p>  <p>キャンプやバーベキューなどで気軽に飲める、低アルコールドリンク</p>	<p>『アンドローカズ』 八女アンサンブリュー</p>  <p>カジュアルだけど味は本物。八女茶カフェの看板メニュー「365日のブレンド八女茶」</p>	<p>『Bottled Local×MODANIS』 竹縁 Bamboo Gin 竹グラスセット</p>  <p>放置竹林の間伐竹を活用。パンブーゼンと酒器のセットで社会課題の解決へ!</p>
<p>『ちくごちゃんねる』 かけたかな</p>  <p>福岡の伝統、木樽仕込の高菜漬を使用 高菜漬をもっと好きになるドレッシング</p>	<p>『ことほぎ』 ことほぎおはぎ</p>  <p>見てキレイ、食べて美味しい お花の形のおはぎ</p>	<p>『未来航路』 HOME TRAMPOLINE</p>  <p>子どもの発達に必要な感覚の土台を育てる家庭用トランポリン</p>	<p>『マイン』 竹バイオマスのハブラシ</p>  <p>環境配慮の紙箱パッケージ、デザイン性も高い竹35%バイオマスのハブラシ</p>	<p>『ケイ・デザイン』 クロスポッド</p>  <p>杖先の開閉脚で「快適歩行」と「安定自立」を可能にする立てられる純粋な1点杖</p>
<p>『アトラス化成』 SUZU 100% INJECTION MOLDING MADE IN JAPAN</p>  <p>ベーシックなデザインと、手に取りやすい価格で展開する鶏100%の酒器ブランド</p>	<p>『ファンウェア』 SAFETY PLUS 防災セット1人用LIGHT</p>  <p>防災のプロ、防災士が監修した1人暮らし用の防災グッズセット</p>	<p>『EMIRAS DESIGN』 ヤサシサノカタチ。</p>  <p>片手で使えるインクループデザインの愛知の赤津焼で作る食器</p>	<p>『NO EXCUSE』 RICCAR ニードルパンチミシン</p>  <p>お子様からお年寄りまで気軽に手芸が楽しめる糸のいらない不思議なミシン</p>	<p>『金照堂』 麟 Lin Awa Old</p>  <p>廃棄物を減らす持続可能な取組として誕生。メタリックな質感の有田焼</p>
<p>『志岐』 pombo</p>  <p>現代の暮らしの多様性に柔軟にマッチする、長期的に使用可能なテーブル</p>	<p>『BRAING』 クロステノン マルチラック</p>  <p>置き方、組み方を変えるだけで多用途に使えるマルチファニチャー</p>	<p>『設計+制作』建築巧房 背板ライト</p>  <p>背板(製材する過程で、チップになってしまう端材)を活用した照明器具</p>	<p>『SING』 SiP</p>  <p>成形技術(インサート)と生活雑貨へのこだわりを活かしたシリコン製の取手</p>	<p>『藤致滋建築設計』 Metal Spinning Lamp / へら絞りのランプ</p>  <p>へら絞り加工を用いたシームレスで立体的な金属によるランプ</p>
<p>『GOMITAJI』 NURU DENIM</p>  <p>工場から廃棄されるはずのデニム端材から生まれた左官塗り壁材</p>	<p>『スリーセンス』 105 オープンキッチンボードミルト</p>  <p>幅105cmの空間で食器・家電・ゴミ箱も収納できる、ミニマルなキッチンボード</p>	<p>『キャニコム』フルーティまさお</p>  <p>傾斜地対応の登坂力と走破性を備えた耐久性の高い四輪駆動の乗用草刈機</p>	<p>『ジュンコンサルタント』 カイドンサット</p>  <p>災害発生時、歩行困難者を一人で救出できるソリ走行方式の階段避難車</p>	<p>『みこころ舎』 旅立ちカプセル&専用テーブル</p>  <p>「環境に優しく、人に優しい」をコンセプトに再生紙で作った円柱形の棺と専用テーブル</p>
<p>『SIKI』 試器</p>  <p>洋服を試着するようにうつわを実際の食事で試して購入できるサービス</p>	<p>『JCA』 Taberii</p>  <p>地域のお店と人をつなげる福岡限定のご当地サービス</p>	<p>『REGIONAL ARKHE』 長崎ストーリーアロマ</p>  <p>香りと旅する新感覚の観光コンテンツサービス</p>	<p>『うきはの室』ばあちゃん新聞</p>  <p>全国のばあちゃんたちの輝く姿、活躍する姿を掲載した新聞</p>	<p>『コンダクト』 牧志下町屋台村</p>  <p>産学連携プロジェクト 牧志下町屋台村「酔夢芝居舞」「クラクラ」</p>

引引戸

大川TATEGUMI (福岡市)

Design:制作+設計 / 建築巧房 高木 正三郎

日本は古来より居住空間に自然をとり入れるために知恵を凝らし、工夫してきた。引引戸は極限までに薄く細く仕上げることで自然光をたくさんとり入れ、景観を近く感じることのできる開放的な居住空間を実現。その技術力は長きにわたって培われ蓄積された大川の底力であり、機能を極限まで追求することでデザインも唯一無二になるというお手本でもある。和モダンという概念を超えた高いデザイン性を持ち合わせている。

審査委員

株式会社阪急阪神百貨店 博多阪急デビジョンマネージャー
澄川 達哉

引引戸

¥297,000~

<https://www.facebook.com/HIKIBIKIDO>



銀賞

より広く、解放的を叶える細い引き残しへ挑んだ建具。



あきらめていた、旅行やお出かけ、思い出づくりに寄り添うサービス。

銀賞

新しい旅のカたち、 介護タクシーでいく介護付き旅行

合同会社トラベルケアふくおか(福岡市)

Design:清水 正樹

「旅行」と「介護」という重なることのなかった二つの「コト」を組み合わせて価値を創出したサービスのデザイン。旅や移動は人が持つ根源的なニーズだが、それを叶えることが難しかった方々も家族や友人と一緒に、あるいは一人で楽しめるようなデザインは大きな一歩だ。すでにあるリソースを繋ぎながら、個人や社会のニーズを満たす仕組みのデザインは、さらにコミュニケーションのデザインの導入によって飛躍が期待される。

審査委員長

Edit and Design 編集者・デザイン研究者 / 九州大学客員教授
池田 美奈子

介護付き旅行サービス

・時間制貸切プラン 1時間 6,600円~

※介護ヘルパー、看護師の追加オプションあり

<https://www.travelcare-f.com>



循環の仕組みを可視化するデザインの重要性。



審査委員長
Edit and Design 編集者・デザイン研究者
九州大学客員教授
池田 美奈子

第26回を迎えた福岡デザインアワードを通して、デザインがもはや特別なものではなく、日常の至るところで意識され、深く浸透していることを実感した。

製品に魅力的な外観や使いやすい機能を与え、その価値を高めることは、今も昔もデザインの大切な役割だが、今日ではむしろ製品のサービスを支える仕組みのデザインの重要性が増している。今回のデザインアワードでも、環境配慮はもはやあらゆる製品やサービスのデフォルトとなっている。しかし、単独の製品にリサイクル素材を使うというようなアプローチだけでは不十分で、その製品を取り巻く仕組みのデザインが必要だ。例えば、「ulu#353196サンゴの塗り壁」は、気温上昇によって死滅したサンゴ

を壁材に活用した商品だが、同時にサンゴ養殖の活動を進めることで資源と自然の関係をデザインし、さらにパッケージやパンフレットなどのデザインを通して、その循環の仕組みを可視化している。「カードボードハンガー」は、環境負荷の少ない段ボールを使ったクリーニング業界向けの機能的な製品で、一定量の需要が見込めるB to Bのニーズに応えるデザインの工夫がある。規格外トマトを活用しようと産官学がそれぞれの得意分野で協働しながら開発した「トマトのおんがえしカレー」は、協働の場づくりのデザインも含まれ、パッケージにもこうした背景が窺われる良い意味での簡易さと無邪気さがある

。「新しい旅のカタチ、介護タクシーでいく介護付き旅行」は、旅行と介護というこれまで交差することのなかったサービスをつなぐことで、これまでニーズが満たされなかったユーザーにとってかけがえのない体験を創出する画期的な仕組みのデザインだ。また、福岡デザインアワードは地域性や伝統産業、文化に目を向けた商品も際立っている。伝統的な木型の技術を駆使した美しい佇まいの「アルミ鋳物のお香立て」や軍手工房の技術と知恵を活かし、さらに地域資源を活用しながら機能的な形を提案した「小国杉のキッチンミトン」。「コヘツツイHAJIME1合」は左官技術の魅力

を伝え、若い職人の育成と技術の継承を視野に入れたデザインだ。同時にユーザーに調理のプロセスを楽しむ体験を提供することで、人とモノと技術と体験をつなぐ循環を生み出している。今年のアワードでは、他にも伝統産業を現代生活の文脈の中で輝かせるデザインが数多く見られた。そして、今年の大賞に輝いたのは、「雪ふる山のおそぶき茶シリーズ」だ。八女の山間地で栽培されるお茶の背景を知る消費者は多くない。厳しい自然環境と人の営みを情報と情緒の両面から伝えるパッケージデザインは、文化に裏打ちされたこの商品の味わい深さに消費者を誘うだろう。

General review



地球資源の循環の仕組みを見る化した「ulu#353196サンゴの塗り壁」



フードロス問題に産官学の地域連携で取り組んだ「トマトのおんがえしカレー」



伝統産業を現代向けにアップデートさせた「コヘツツイHAJIME1合」



八女の厳しい自然環境だからこそ誕生した「雪ふる山のおそぶき茶シリーズ」



受賞企業15 社全員で記念撮影。大賞50万円、金賞5万円、銀賞1万円の賞金が贈呈された。



デザインビジネスと社会をつなぐ 福岡デザインアワードとは？

デザインビジネスから生まれた魅力的な商品を発掘し、
その成長をサポートする、“地域の未来を照らす”アワードです。
たくさんの人に商品を届けたい。そんなあなたの一步を応援します。

最終審査会当日は、400人以上が訪れる大盛況。商品に関する質問が飛び交い、活気あふれる時間となった。

有識者、デザイナー、流通関係者など様々な分野から集められた計12名の審査委員により、受賞商品が選出されます。受賞すると、専門家に認められたという箔が付くのはもちろん、福岡デザインアワードのロゴが使用できるなど、商談の際の強みに。また県が主体となってプレスリリースのほか、商品紹介動画や商品情報のホームページ掲載などを通じて、県内外へ商品の魅力を発信します。



デザインを表舞台に

出品することに意味があります。審査項目を入力する際に、自社商品の魅力を客観的に見つめブラッシュアップすること、新たな魅力に気づくことも。そうして商品と向き合いながら完成したエントリーシートは、商品の魅力やコンセプトが一目でわかる販促ツールとして、商談の場でも活用できます。また、エントリーに費用はかかりませんが、出品された商品には審査委員からの評価がもらえます。



ネットで簡単エントリー

受賞商品は、JR博多駅を中心にデジタルサイネージ等により広くPRします。また、ハンズ博多店での販売会で商品の良さを直接お届けするほか、大賞、金賞に輝いた商品は、クラウドファンディング支援により全国に発信するなど多方面から販路拡大をサポートします。審査委員の講評や大賞商品の制作秘話などを掲載した本受賞商品集は、販促ツールとして活用することができます。



ビジネスの販路拡大支援

1次審査を通過したノミネート商品50点は、最終審査会場で一斉にお披露目されます。全国から集まったデザイン性の優れた商品に触れ、多業種の企業やデザイナーと交流することで、新たなアイデアや自社の潜在的な可能性に気づくだけでなく、参加者同士の取組も実現しています。審査会後には、ノミネート商品展示会が行われ、商品を広くPRする機会が用意されています。



デザインの価値を高める



商品開発の課題解決やさらなる販路拡大のための支援に取り組んでいます。



福岡県知事
服部 誠太郎



福岡デザインアワードは、優れたデザインを評価、発信するコンペティションです。今回で26回目を迎え、これまで約3000件の応募の中から750件を超える商品を表彰してまいりました。受賞をきっかけに、メディアへの露出が増え売り上げが上がった、新規受注が増えた、商談にあたって大きな信用につながっているといった多くの喜びの声が届いています。

デザインは、商品のブランド価値を高め、他の商品と差別化を図ることで売上を向上させる重要な要素です。デザインを活用した新商品や新サービスを開発していくうえで、ユーザーニーズや社会的な課題を的確に捉え、具体的な解決策

に結び付ける『デザイン思考』は、新たな価値を創造する力を秘めています。福岡県では、福岡県産業デザイン協議会と連携して、商品開発の過程で生じた課題の解決を目指すワークショップ、販路拡大のための販売会やクラウドファンディングの実施など、商品開発から販売までの支援に取り組んでいます。福岡県はデザインを学ぶ環境が充実しており、多数のデザイナーが活躍する全国有数のデザイン集積地です。この強みを生かして、皆さまにはこれからもデザインの力を活用したもののづくりにチャレンジしていただき、大きなビジネスチャンスをつかまれることを心から願っています。



第26回福岡デザインアワードには、全国174社から217件の応募をいただきました。過去最多を更新し、200件を超えたことを大変うれしく思います。応募いただいた企業の皆さまに感謝申し上げます。

デザインは、単に色や形で商品の魅力を高めるだけでなく、商品のストーリーを伝える重要な要素です。福岡県産業デザイン協議会では、産業界、デザイナー、行政等が緊密に連携し、デザインを活用した商品企画・開発の促進やデザイン性に優れた商品の販路開拓の推進に取り組んでいます。その一端として、今年のアワードでは、最終審査会に併せて、多業種の企

業、デザイナーが交流できる場を設けました。この交流会を通じて、参加者の視野や知識、考え方が広がるだけでなく、参加者同士のコラボレーション企画など、新たなビジネスのきっかけが生まれることを期待しています。また、これまでの受賞商品からは、受賞をきっかけに知名度が上がり、世界へ販路を広げることに成功した事例も出ています。今後も、この福岡デザインアワードが福岡に留まることなく、全国の優れた産業デザインを競う場に発展していくよう取り組んでまいりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

福岡県産業デザイン協議会 会長
(九州旅客鉄道株式会社 代表取締役社長執行役員)
古宮 洋二



企業や参加者やデザイナーが交流できる場を設けて新ビジネスの誕生を応援します。





第1回 1999
フロートパッキング
株式会社コンドー・マシナリー

電子機器等の品物を発送する際の衝撃から守るために開発された梱包材。エコな素材、簡単で無駄のないデザイン。
応募件数94件(61社)



第5回 2003
あんしんタオル
宮原タオル株式会社

化学薬品を使わない、赤ちゃんからお年寄りまで安心して使えるタオル。商品説明も読みやすく処理された一貫したデザイン。
応募件数80件(62社)



第9回 2007
小倉織 縞織 SHIMA-SHIMA
株式会社小倉クリエイション

途絶えた小倉織を復活させ、機械織により広幅化を実現した風呂敷。現代的な柄柄デザインを取り入れたクオリティの高い商品。
応募件数100件(79社)



第13回 2011
ヘアケアピュアローション「椿なの」、
「椿なのリペア」株式会社オーラテック

界面活性剤を使用しない防腐剤無添加のヘアケアピュアローション。「ひとにやさしい」デザイン。
応募件数162件(136社)



第17回 2015
アイスリットテープディスペンサー
福岡丸本株式会社

微細加工技術を用い、金属刃による課題を解決したテープディスペンサー。デザインや、産学連携の実証実験、社会への新たな提案力のある商品。
応募件数165件(145社)



第21回 2019
monaca stool シリーズ
株式会社 酒見椅子店。

和菓子の「最中」をモチーフに、日本古来の六花の華やぎを纏わせたスツール。令和に相応しい花の心をカタチにしたトータルデザイン。
応募件数157件(145社)



第2回 2000
快步主義KHS L002
株式会社アサヒコーポレーション

歩く楽しさ、快適さを追求して開発された高齢者向けの靴。機能性と造形性のバランスがとれたデザイン。
応募件数108件(90社)



第6回 2004
DAIDABO
東木工株式会社

木製板材と箱で構成されたユニットによる組み合わせ収納家具。ライフスタイルに合わせ、使い勝手が工夫できる新しい型の家具。
応募件数102件(63社)



第10回 2008
TONBY
紙飛行機デザイン工房

世界初、折り紙の特殊効果用紙飛行機。単純な構造ながら安定した滑空を実現。大空に飛ばせるイベントツールとしての可能性がある商品。
応募件数132件(106社)



第14回 2012
柳川まめマヨ
柳川農業協同組合

柳川産大豆フコクタカの豆乳を原料としたマヨネーズ風ドレッシング。商材の魅力を伝えるネーミングやパッケージ、地域ビジネスの可能性のある商品。 応募件数174件(139社)



第18回 2016
博多水引ボトルリボン
有限会社ながさわ結納店

ワインボトルを華やかに飾る博多の伝統工芸「博多水引」のボトルリボン。伝統工芸の美しさを使い勝手のよさを融合させた卓越したデザイン。
応募件数150件(127社)



第23回 2021
Titanium Spoon series
有限会社リナシメタリ

チタンの優れた特性を活かし、航空機や自動車向けの最新加工技術と匠の手による研磨仕上げによって、チタンの難加工性を克服している。
応募件数123件(111社)



第3回 2001
Life-D
大川ライフデザイン研究所

11社の大川家具メーカーと福岡のデザイナー・建築家の異分野協働で生まれた家具。日本人の暮らしに寄り添った人にやさしいデザイン。
応募件数65件(57社)



第7回 2005
ecopo
田川産業株式会社

漆喰土壁の特性を活かした焼かない植木鉢の手作りキット。実体験型の学習効果や植木鉢を作る喜びを表現したデザイン。
応募件数100件(67社)



第11回 2009
緑茶維新シリーズ T/BAG、
T/POWDER 株式会社つじり

国産厳選茶葉の美味しさを手頃な価格で簡単に飲めるティーバックとティーパウダー。美味しいお茶を飲む感動というメッセージが明解。
応募件数152件(123社)



第15回 2013
Archi skin
株式会社マイサ

「建物を覆う皮膜」をコンセプトにアルミ製パネルで作られた建築資材。技術面や機能性、新しいビジネスの可能性を広げ、波及効果が大きい商品。
応募件数145件(124社)



第19回 2017
廃校活用事業「いいかねPalette」
株式会社BOOK

廃校を活用し持続的施設運営を可能にした地方創生プロジェクト。多彩に成長するビジネスモデルが評価された。
応募件数147件(132社)



第24回 2022
mu
SEA you again プロジェクト

海洋ごみを無くすことにちなみ、「mu(ムー)」と名付けられた。海洋プラゴミを「資源」として蘇らせ、価値あるものとしてアップサイクルされた石けんケース。
応募件数120件(98社)



第4回 2002
該当なし
応募件数91件(74社)



第8回 2006
八女手漉き和紙 プリーツ加工紙
松尾和紙工房

半立体のプリーツ加工を施した八女手漉き和紙。平面表現に特化した和紙のあり方を一変させ、多様な生活シーンを創り出す。
応募件数112件(87社)



第12回 2010
デザイナーズ防犯カメラ[PF-JT111]
株式会社日本防犯システム

ブランドショップなど多様な設置環境との調和を考慮した“み(見・魅)せる”防犯カメラ。最新技術と造形力が統合されたデザイン。
応募件数139件(117社)



第16回 2014
ぐっ波斯
独楽工房 隈本木工所

筆記姿勢をよくする教習具。県産材を用い高い技術と人間工学に基づいたデザインによって福岡発の思いやり商品として結実させた。
応募件数189件(155社)



第20回 2018
一日20gの食習慣「西利乳酸菌ラブレ」
京つけもの西利

乳酸菌を使用した野菜の漬物。1週間分がワンパックになったデザイン、企画性、価格努力など、商品開発力の高い商品。
応募件数130件(122社)



第25回 2023
ふるさとズ
株式会社サンカクキカク

店舗型ふるさと納税@「ふるさとズ」は、現地に訪れた際の体験を通じて「現地で支払う費用」をそのままふるさと納税にできる仕組み。
応募件数184件(148社)



主催 福岡県産業デザイン協議会・福岡県

協賛 九州旅客鉄道株式会社、九州電力株式会社、株式会社九電工、西部ガスホールディングス株式会社、TOTO株式会社、株式会社西日本シティ銀行、西日本鉄道株式会社、株式会社福岡銀行、福岡地所株式会社、株式会社安川電機（順不同）

後援 九州旅客鉄道株式会社、西日本鉄道株式会社、RKB毎日放送、NHK福岡放送局、FBS福岡放送、KBC、TNC テレビ西日本、テレQ、朝日新聞社、一般社団法人共同通信社福岡支社、産経新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、株式会社井筒屋、株式会社岩田屋三越、株式会社博多大丸、株式会社ハンズ博多店、麻生建築&デザイン専門学校、九州産業大学、九州大学、専門学校日本デザイナー学院、西日本工業大学、福岡デザイン専門学校、一般社団法人九州アートディレクターズクラブ、一般社団法人日本空間デザイン協会、北九州総合デザイナー協会、公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会、公益社団法人日本インテリアデザイナー協会、公益社団法人日本グラフィックデザイン協会（JAGDA）、公益社団法人日本サインデザイン協会、公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会、公益社団法人日本パッケージデザイン協会、一般社団法人九州北部信用金庫協会、一般社団法人福岡県中小企業家同友会、公益財団法人福岡県中小企業振興センター、（独）日本貿易振興機構（ジェトロ）福岡貿易情報センター、福岡県商工会議所連合会、福岡県商工会連合会、福岡県中小企業団体中央会、北九州地域中小企業支援協議会、筑後地域中小企業支援協議会、筑豊地域中小企業支援協議会、福岡地域中小企業支援協議会（順不同）

応募対象 日本国内に事業所等をおく、中小企業者又は小規模企業者等

応募資格 日本国内において製造または販売する商品・サービス等のうち、次の要件を満たしているもの。
 ① 反復生産が可能なもの（部品を含む）
 ② 概ね5年以内に開発されたもの
 ③ 現在販売中または今年度販売予定のもの

応募区分 A 衣料・アクセサリ / 衣服、バッグ、時計、貴金属など、身につけて使用するもの
 B 食品 / 食材や製法にこだわった飲食に関するもの
 C 健康・美容・福祉用品 / 健康グッズ、化粧品、医薬品、介護用品など身体に働きかけるもの
 D 生活雑貨・生活用品 / 生活用品、文具、玩具など、主に手に取って使用するもの
 E 家具・インテリア / 家具、量など置いて使用するもの、照明、カーテンなど空間を構成するもの
 F 産業・商業・公共空間機器 / OA機器、医療設備など事業活動や公共空間において使用するもの
 G 情報・サービス / ソフトウェア、デジタルコンテンツなどサービスを提供するもの
 H イベント・地域ビジネス / スポーツイベント、地域行事・催事に関するもの

会期 2024年10月31日（木）
 9:30-11:30 最終審査 / 12:00-14:30 ノミネート商品展示会 / 14:30-15:30 授賞式

会場 J R九州ホール（福岡市博多区博多駅中央街1番1号 J R博多シティ9階）

審査委員長 池田 美奈子 Edit and Design 編集者・デザイン研究者 / 九州大学客員教授

副審査委員長 廣嶋 まい 一般社団法人Design-DESIGN MUSEUM 理事

審査委員 石松 瑞樹 株式会社岩田屋三越 マーチャンダイザー
 志賀 美紀 株式会社ハンズ 博多店 前グループマネージャー
 下川 まさのり 公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 福岡地区代表
 澄川 達哉 株式会社阪急阪神百貨店 博多阪急 ディビジョンマネージャー
 中島 浩二 西日本工業大学デザイン学部情報デザイン学科 教授
 永野 研太 株式会社四次元ポケット 代表取締役
 永野 弥生 株式会社電通九州 シニアクリエイティブディレクター
 西高辻 信宏 太宰府天満宮 宮司
 山田 彰 株式会社九州博報堂 エグゼクティブディレクター
 吉嗣 直恭 カルチャー・コンビニエンス・クラブ株式会社
 六本松葛屋書店 雑貨コンシェルジュ

福岡県産業デザイン協議会

設立 平成9年11月13日
 産業界、デザイナー、行政等が緊密に連携して、デザインを活用した商品企画・開発の促進と、デザイン性に優れた商品の販路開拓を推進することにより、福岡県における産業デザインを振興し、福岡県経済の発展に寄与することを目的とする。

会員数 188団体・個人（2024年3月末現在）

会長 古宮 洋二 九州旅客鉄道株式会社 代表取締役社長執行役員

副会長 西高辻 信宏 太宰府天満宮 宮司
 下川 まさのり 公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 福岡地区代表

事務局 福岡県 商工部 新事業支援課
 〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7-7
 Tel. 092-643-3449 Fax. 092-643-3226
 E-mail: design-2@fida.jp URL: https://award.fida.jp



福岡デザインアワード2024受賞商品集

統括ディレクション：太田 康之（VIGORE Design） 編集・デザイン：荻原 孝弘（A&d合同会社） 取材・文：諸崎 そよか
 撮影：長崎 辰一（リパティ）、石崎 純（石崎写真事務所）